

コロナ禍でも取り組んできた活動を紹介します

## 節分 「鬼」と「福」

例年は体育館で行っている全校の「節分集会」ですが、今年は学級ごとに考えた「追い出したい鬼」と「招きたい福」とを昼の校内放送で発表しました。どの学級も、自分のクラスの実態をよくわかった上で、さらに良くするにはどうしたらよいかを考えられているところが素晴らしいと思います。



↑廊下に掲示された各学級の「鬼」と「福」

1の1	すききらいおに	けんかするおに	やさしくするふく
1の2	わすれものおに	手わるさおに	人のはなしをきくふく
2の1	月曜日のわすれものが多いおに		べん強をがんばるふく
2の2	先生の話の聞かないところ		みんな親切でやさしいところ
3の1	勝手に行動するおに		やるべきことに集中するふく
3の2	わすれ物おに		字をていねいに書くふく
4の1	忘れ物をする鬼		大きな声であいさつする福
4の2	じゅ業中にしゃべる鬼		みんながあいさつ大きい福
5の1	あいさつ・返事しない鬼		手をいっぱい挙げて発言できる福
5の2	給食を残す鬼		六年生において大きい声で発表する福
6の1	授業に間に合わない時廊下を走ってしまう鬼	勉強と遊びのけじめがついている福	
6の2	あいさつ・返事が弱い鬼	たくさん意見を言える福	

## 食品ロスについて考える取組

2月15日(月)～19日(金)の5日間で、給食委員会が中心となって「食品ロスについて考える取組」を実施しました。これは、2学期に続いて2回目の取組で、「食べ物を大切に、残さなくて食べようとする気持ちを育てる」ことをねらいにしています。しかし、決して全員に給食を完食することを求めているわけではなく、給食をきっかけにして、食品を捨てたり無駄にしたりすることについて少しでも関心をもってもらいたいという給食委員の思いから出てきた企画です。給食委員からは、少しでも改善したところを見つけてどの学級にも賞状を出して褒めようとする工夫も見られ、その成果は毎日の残食が減る様子に表れていました。

## あいさつ・返事運動

企画委員会の提案で、あいさつ・返事運動をしました。2月22日から26日までの間、各学級で取り組むのと同時に、3～6年生の有志から「あいさつ・へんじリーダー」を募り、20分休みと昼休みに廊下で呼びかけを行いました。今年は、コロナの影響でマスクをする期間が長くなり、なかなか大きな声での「おはようございます」が聞けなくなってきたのが残念です。マスク下からでも、あいさつしてほしいですね。

## マンガ・アニメフェスタ「優秀賞」

5年生の松本恵奈さんの描いた作品が、第8回GUNMAマンガ・アニメフェスタのイラスト部門で見事に「優秀賞」を受賞しました。華やかで細かいところまでしっかり描けていて、雰囲気良く出ていますね。

作品名「花魁(おいらん)」→

